

# 市民の音楽 ロビーに響く

## みよし サンアートで演奏会

みよし市三好町の文化センターサンアート(加藤大朋館長)で14日、今年度最初のロビーコンサートが開かれ、市民らが美しい音色や朗読、歌声を楽しんだ。

同館は昨年11月に大規模改修工事を終えてリニューアルオープン。ロビーコンサートは気軽に生演奏を楽しめる無料コンサートで「みよし市発あなたの街の小さな音楽



ぬくもりのある音楽を奏でるEnsemble Chaleur=14日、みよし・サンアートで

会」として、毎月1回木曜午後7時から、各回3組が演奏を披露している。今回の1部はEnsemble Chaleurの「ぬくもりのある音楽を」。音大出身の大川由美さん(50)「みよし市東山台、松浦宏美さん(49)「豊田市越戸町、堀内美香さん(57)「平戸橋町の3人がホルン、ユーフォonium、ピアノ

祭神は、伊邪那美命(いざなみのみこと)などの「四柱」(よはしら)神様の教え方)です。豊田市北部、京町の白山神社は、足助領主の成瀬藤蔵之成公が領主となった慶長年間(1596)に建てられたといわれています。成瀬氏が排除された後も、村人の信仰は続きます。

口碑では昔、この地域を参河(みかわ)の国加茂郡梅香坪(うめがつぼ)村といい、四方に社を建てて村人の安全と五穀豊穡を祈りました。これらを梅坪四社と称し、東に弁財天、南に若宮社、西に神明社、北に白山社がありました。神明社と若宮社は梅坪神社となり、かつて矢作川の中の島にあった弁財天は現存していません。

「小さな世界」、中島みゆきの「時代」など4曲を演奏した。大川さんは「金管楽器で中低音を担当するホルンとユーフォニウムの柔らかい音色を第一に、心温まる音楽を届けていきたい」と話す。2部は音大ピアノ科出身の大溝倫子さん「知立市」の「四季のピアノ」真理子とアンサンブルの

自作曲で構成したプログラムで画面に映される絵も楽しいピアノと朗読を披露。3部は豊田市で結成されたアコースティックバンド「ぬいぼ」の「ポップスとボサノバのゆうべ」。ジャズコンテストラファイナリストの経験者ボーカルのMIEKO、ギターのmasato、サトウ、パーカッションのSaitoの4人が、優しい歌声で会場を包んだ。

次は5月19日に「永田真理子とアンサンブルのまわり」の弦楽アンサンブルなど3組が演奏する。ロビーコンサート担当の壺井直子さんは「観客と奏者のコミュニケーションを大切にしたい。会場全体の一体感を楽しんでほしい」と話す。

また、24日にはサンアートフェスタを開催する。唐揚げや焼きそばなどの出店、射的や段ボールフリスビーなどのゲーム、地元農産物の販売とダンスパフォーマンスやライブも開催。担当の岸上稔

彦さんは「見どころはB MX、スラックライン、バルクールの日本トップクラスの選手のデモンストレーションや体験会。

ツカン体験、農業体験・枝豆の種まき。竹のドームステージではドラムサークルやライブ、バリ舞踊などを披露。15-19時

「(ただいま!)」をサブテーマに2年ぶりの開催10-18時。同会090-6615-4092

◇リニ毛風ウォーキング 24日、豊田発!モリコロパーク満喫コース 8時半-11時半に八草駅改札付近をスタート。八

**和 wa gallery**  
川平屋  
豊田市幸町1-43 032-0201

# 破れた土俵 京町の白山神社

## 近場にも歴史あり②③

久野レイ子 視覚障害者センター勤務

1763(宝暦13)年、村の半分が焼け野原となる大火災があり、「もう二度とあのような恐ろしい火災にあわないように」と1782(天明2)年、戦後は境内で三角ベース当時の梅香坪村の大庄屋だった太田定勝氏が、浜松(静岡県)の秋葉神社総本宮から鎮火の神様を合祀しました。これを地元の人々は「秋葉(あきや)さん」と呼んで親しまいました。

京町の元区長である三岡鍾嘉(かねよし)氏が子どものころ、神社で火祭りが盛んで、「はそりで作った甘酒をやかんに入れてもらおうと持って行ったところ、ちょうど中身がなくなっ

まいました。大声で泣いて毒に思った若者が柄杓に分けてくれた」と語っています。戦後は境内で三角ベースもあつたそうです。

時は流れて1961(昭和36)年、豊田市から赤池をつなぐが建設されるとき、白山神社はその売却益で本殿居、境内などを整備しま